



ウンカ類発生状況報告書



(トビイロウンカ発生程度別基準)

程度	無	少	中	多	甚
株あたり虫数	0	1～5	6～21	21～50	51以上

(セジロウンカ発生程度別基準)

程度	無	少	中	多	甚
株あたり虫数	0	1～10	11～50	51～100	101以上

(ヒメトビウンカ発生程度別基準)

程度	無	少	中	多	甚
株あたり虫数	0	1～2	3～5	6～10	11以上

(植物防疫協会 イネの病害虫より)

調査日:令和4年7月19日

調査田	捕殺数(株あたり虫数)		
	トビイロウンカ	セジロウンカ	ヒメトビウンカ
岸和田市積川町	0頭	0頭	0.013頭 ※75株当たり1頭捕殺
和泉市黒石町	0頭	0頭	0.013頭 ※75株当たり1頭捕殺
泉大津市虫取町	0頭	0頭	0頭

総括

今回の調査においてもトビイロウンカ、セジロウンカは確認されませんでした。

ヒメトビウンカは、75 株中 1 頭確認できた程度で慣行防除の範囲内とみています。

※ヒメトビウンカの要防除水準は、1 株当たり 3 頭以上を目安としています。

また、箱剤の効果が弱くなってくる時期になりますので、中干し終了後水張り開始時～8 月中旬に薬剤散布を行い、適期防除に努めてください。

種類	農薬名	施用時期	成分数	トビイロウンカに対する有効成分	IRACコード
殺虫剤	エクシードフロアブル	収穫 7 日前まで	1	スルホキサフロン	4 C
	アルバリン粒剤	収穫 7 日前まで	1	ジノテフラン	4 A
	スタークル豆つぶ	収穫 7 日前まで	1	ジノテフラン	4 A
	パダントレボン粒剤 L	収穫 30 日前まで	2	エトフェンプロックス	3 A
	パダンバッサ粒剤	収穫 30 日前まで	2	BPMC	1 A